

事務事業名	文化協会活動支援事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連		
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
施策名	21	生涯学習の推進		所属係	生涯学習班	課長名	野本立一
基本事業名	79	生涯学習団体やスポーツ団体の組織化の推進		担当者名	宮本拓摩	電話番号 (内線)	248-5555 1503
予算科目	会計 01	款 10	項 05	目 06	事業	文化振興事業	
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返		☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 昭和54 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 合志市文化協会の文化活動に対して運営支援を行い、文化芸術活動を活性化させる。 (業務の内容) 補助金交付に係る申請の受理、審査、交付決定、支払い、交付確定。 (予算の内訳) 負担金補助金及び交付金				総投入量	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
					事業費計 (A)	0	
					人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B)	
					トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

文化協会補助金の交付を行った。

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度と同じ。

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

合志市文化協会

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

合志市文化協会の自主運営支援を促進する。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

・学習に取り組む仲間ができる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 団体数	団体
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 協会所属団体数	団体
イ 会員数	人
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 主催行事の開催回数	回
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 活動している団体数	人
イ 市内在住のインストラクター数	人
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	576	576	576	576	576	518	518
			事業費計 (A)	千円	576	576	576	576	576	518	518
	人件費		正規職員従事人数	人	6	6	4	1	1	1	1
			延べ業務時間	時間	600	600	300	50	50	50	50
			人件費計 (B)	千円	1,500	1,500	1,191	199	199	199	199
			トータルコスト(A)+(B)	千円	2,076	2,076	1,767	775	775	717	717
活動指標		ア	団体			91	161	170	180	190	
		イ									
		ウ									
対象指標		ア	団体			91	161	170	180	190	
		イ	人			961	1821	1850	1870	1900	
		ウ									
成果指標		ア	回			1	1	1	1	1	
		イ									
		ウ									
上位成果指標		ア	人			961	1821	1850	1870	1900	
		イ	人								
		ウ									

合志市

事務事業名	文化協会活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等					
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？					
文化協会の設立に伴う活動支援補助金で、旧西合志町は平成3年から支援補助を行い、旧合志町は昭和54年から支援補助を行っている。					
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
旧西合志町は基本的にコミュニティ単位でコミュニティ指導員のもと活動を行っていた。 旧合志町では、文化団体の代表者で構成される合志町文化協会事務局のもと自主的に活動していた。 合併に伴い、平成18年度中に文化協会の一本化を進め、支部制(旧町文化協会をそれぞれ支部とする)により運営を行った。 平成19年5月25日、支部制を廃し、一本化した合志市文化協会が設立した。					
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？					
合志市文化協会を設立し、組織体制等の問題解消に向け、調整が図られているが、旧両町の運営方針の相違から行政の関わりについても検討がなされている。また、一方では、体育協会との運営方法が比較され、同様の取り扱いとなるよう意見が強まっている。					

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 協会の自主的な活動が活発に行われ、生涯学習の推進と文化芸術活動の活性化に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 統一して間もない団体であり、健全な運営までの期間は関与が必要 活動に対し、財源が必要。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 活動内容の充実を図り、所属団体の活性化を促す。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ まだ自主活動団体としては、財政的な援助が無ければ、文化活動が衰退を招く。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似した団体が無い
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 支部制の廃止により、組織再編、運営方針の見直し等の調整が進めば、健全経営が可能になり、除々にてはあるが削減が実施できる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 自主活動団体として、運営基盤が確立すれば、職員が関わる時間も削減できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 文化祭、発表会を介し、多くの市民に参加啓発活動を行っている。

合志市

事務事業名	文化協会活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

成果の向上余地については、活動内容の充実を図り、所属団体の活性化を促す。
事業費の削減余地については、支部制の廃止により、組織再編、運営方針の見直し等の調整が進めば、健全経営が可能になり、除々にではあるが削減が実施できる。
効率性について、自主活動団体として、運営基盤が確立すれば、職員が関わる時間も削減できる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)
- 自主活動団体としての自立

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持	○	○	×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 両旧町の文化協会の活動方法、待遇の相違の統一

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項